

平成31年度予算見積調書

課室名：商業・サービス産業支援課

担当名：映像コンテンツ担当

内線：3734

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B18	映像関連産業振興費			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	映像関連産業振興費		
事業期間	平成14年度～平成44年度	根拠法令	なし				宣言項目	08	稼ぐ力の向上	
							分野施策	040831	新たな産業の育成と企業誘致の推進	
1 事業概要 映像関連産業の導入・集積を図るため、彩の国ビジュアルプラザの効果的・効率的な管理運営を行う。 あわせて、本県における映像関連産業の振興を図るため、各種の施策を展開する。				5 事業説明 (1) 事業内容 ア SKIPシティA2街区維持管理業務費及び彩の国ビジュアルプラザ管理運営費等 1,017,989千円 (イ) SKIPシティA2街区維持管理業務費 SKIPシティA2街区施設の維持管理を行う。 (ロ) 彩の国ビジュアルプラザ管理運営費 映像ミュージアム、スタジオ、映像ホール、インキュベート施設（映像制作支援室、インキュベートオフィス）、映像公開ライブラリー、情報発信システムを運営するとともに、広報イベント等を実施する。 (ハ) SKIPシティ国際Dシネマ映画祭負担金等 (ニ) 情報発信システム、ライブラリーシステム等の機器賃貸借経費 (ホ) 彩の国ビジュアルプラザ映像機器更新費 イ 彩の国ビジュアルプラザ県管理経費 2,850千円 ウ SKIPシティ整備推進費 10,719千円 エ 彩の国映像コンテンツ産業振興ネットワーク運営費 119千円 県内の映像関連事業者との意見交換、各地の上映会等の支援、連携事業等を行う。 (2) 事業計画 ア 平成31年度 開設後16年を経過した彩の国ビジュアルプラザにおいて、賑わい創出と集客を意識した効果的・効率的な事業実施、映画祭や関係業界との連携等により映像産業を担う人材の育成と映像関連産業の振興・集積を図る。 イ 平成32年度～ 引き続き、効果的・効率的に事業を展開し、映像産業を担う人材の育成と映像関連産業の振興・集積を図る。 (3) 事業効果 映画祭のコンペティション部門に98を超える国と地域からの作品応募、育成したクリエイターが国内外の映画祭での受賞や作品の劇場公開などで活躍、年間2万人以上の子ども達が映像ミュージアムの映像学習を体験						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4.0人=38,000千円										
予算額		財源内訳							一般財源	前年との対比
		使用料・手数料	財産収入	諸収入	県債					
決定額	1,031,677	79,131	23,696	10	200,000			728,840	179,777	
前年額	851,900	81,783	21,692	10	57,000			691,415		